

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 19	
企画名	明日からできる Difficult Patient への対応（実践編）～プライマリケアで良質な患者中心の医療を提供する～
日時	2016年6月12日（日） 09:30～11:30
会場	第9会場（台東区民会館 8階 第5会議室）
企画責任者	鋪野紀好（千葉大学医学部附属病院 総合診療部）
定員	40名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>プライマリ・ケア医は Difficult Patient に対しても、いかに良質な患者中心の医療を提供するかを常に考える必要があります。本セッションでは、Difficult Patient の要因分析とそれぞれに対する方略を獲得し、日常診療の質の向上を目指します。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>医療者が「いやだな」「イライラする」と感じる「対応困難な患者」を Difficult Patient（以下 DP）と言います。DP はプライマリ・ケアにおける外来患者の約 15%を占め、臨床現場に多くの問題（医療者の疲弊、患者満足度・ADL 低下、医療コスト増大）をもたらすことが知られています。良質な患者中心の医療を実現に、プライマリ・ケアに携わる医療者は DP と感じる因子を明確にし、適切な対処法が取れる必要があります。本セッションでは、DP の要因分析とその対応法習得を目的としたワークショップを行います。前半は、参加者と千葉大学総合診療部の具体的事例を通じて、要因分析とその対応法についてスモールグループで討議を行います。後半は、模擬患者を利用した DP 対応のシミュレーションを行います。参加者全員が翌日の診療から活用できるプロダクトの共有を目指したワークショップとしますので、是非お気軽にご参加ください。</p>	